

21年度業績と22年度計画について

21年度の当社の受注高は253億円(対前年度比：114.9%)、売上高は235億円(対前年度比：114.8%)となった。地区別では中部・中国・四国・九州の4地区が過去最高の受注高となった。

受注棟数は247棟、受注床面積48万㎡、一棟当りの平均床面積1,959㎡であった。

当社の販売ネットワークである「日鉄物産システム建築会」の会員数は、1,553社となった。

2019年度より販売を開始した「SUMISYS NEO」の受注は、2021年4月より、対象を両方向ラーメン構造の2階建てまで拡大した結果、大型倉庫案件へ採用されるなど、トータルで216,239㎡(76棟)と好調に推移している。

さらに、2022年4月より、最大柱間隔を11.5m×11.5mに拡大した両方向ラーメン構造の「SUMISYS NEO-Grid」の販売を開始。内部レイアウトの自由度が上がり、より幅広いニーズに対応可能となっている。

顧客である設計事務所やゼネコンから評価されている「地域に密着した営業体制」、「会員と連携したビジネススタイル」の継続と、「SUMISYS NEO」の拡販により、2022年度の受注高は270億円、売上高は260億円を見込む。



建設地／福岡県鞍手郡小竹町 用途／物流倉庫 商品名／ネオ 階数／2階 施工床面積／20,417㎡